

令和2年度

酒田市 予算特集

酒田市総合計画の3年目となる令和2年度は、目指すまちの姿の実現に向けた3つの目標の達成に向け、一步一步前に進める施策を展開していきます。

- 1 人口減少の抑制
- 2 市民所得の向上
- 3 酒田市に住み続けたいと思う市民を増やす



整備が進む酒田駅前

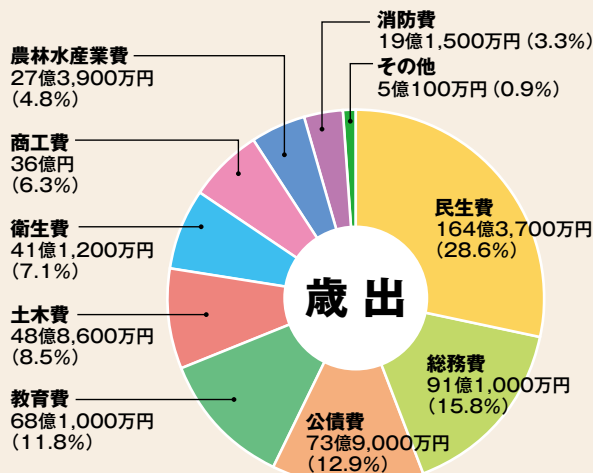
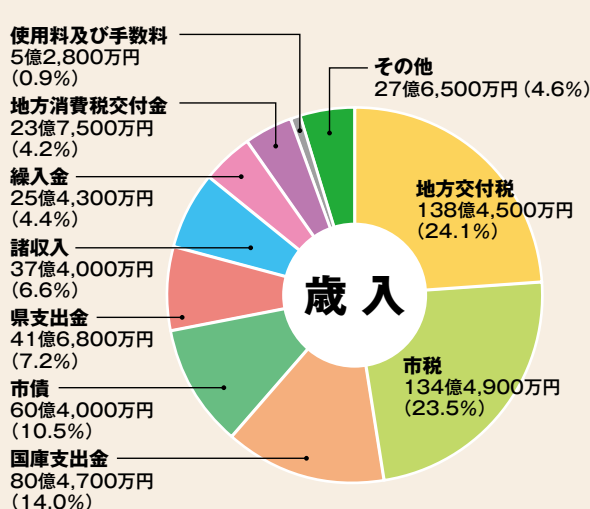


令和2年度 当初予算の概要 ~「賑わいも暮らしや

1 会計別の予算規模

●一般会計 総額575億円 (対前年度比+54億円 / +10.4%)

一般会計とは、福祉、子育て支援、道路整備、教育など基礎的な行政サービスを行うための会計です。



※円グラフにおける歳入・歳出の内訳額は、百万円単位で表示しています。

●特別会計

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で賄う会計です。収支を明確にするために、一般会計から切り離して経理しています。

会計	予算額	対前年度比
風力発電事業特別会計	14億5,630万円	81.0%
定期航路事業特別会計	3億4,252万円	△34.8%
国民健康保険特別会計	105億2,517万円	△3.4%
後期高齢者医療事業特別会計	13億6,786万円	5.8%
介護保険特別会計	126億9,640万円	0.7%
駐車場事業特別会計	2,975万円	△3.0%

●企業会計

企業会計とは、民間企業と同様に事業の収益によって運営している会計です。

会計	予算額	対前年度比
水道事業会計	収益的収入	28億4,121万円 0.6%
	収益的支出	26億7,340万円 0.9%
	資本的収入	6,026万円 53.7%
	資本的支出	12億7,436万円 △4.6%
下水道事業会計	収益的収入	48億6,067万円 0.3%
	収益的支出	48億1,912万円 △3.2%
	資本的収入	6億 71万円 △5.8%
	資本的支出	28億2,012万円 △6.3%

2 主な基金の状況

※金額は百万円単位で表示しています。

基金とは、特定の目的のために現金などの財産を運用するもので、家計でいうところの貯金にあたります。近年の厳しい財政状況を受けて、基金残高の総額は減少傾向にあります。令和2年度末の主な基金の残高見込みは次のとおりです。

●令和2年度末基金残高見込み 77億2,400万円 (対前年度比 △17億9,100万円)

財政調整基金 25億3,400万円 (対前年度比 △6億9,900万円)

突発的な災害などによる支出増や、経済の不況などによる収入減などに備えるための基金です。

市債管理基金 4億6,700万円 (対前年度比 △1億1,200万円)

建設事業などの借入金返済の際に、年度間の平準化などを行うための基金です。

さかた応援基金 1億4,600万円 (対前年度比 △3億1,700万円)

ふるさと納税による寄附金をもとに、魅力あるまちづくりを進めるための基金です。

すさも共に創る公益のまち酒田」を目指して～

3 主な歳入の状況 (一般会計)

※主な項目を記載し、金額は百万円単位で表示しています。

市 税

134億4,900万円

(対前年度比+0.1%)

- ◆個人市民税 44億 300万円(+1.3%)
- ◆法人市民税 11億4,500万円(△8.4%)
- ◆固定資産税 60億1,200万円(+0.9%)
- ◆市たばこ税 6億 900万円(△0.9%)
- ◆都市計画税 8億3,600万円(0.0%)

地方交付税

138億4,500万円

(対前年度比+1.0%)

- ◆普通交付税 125億9,500万円(+1.1%)
- ◆特別交付税 12億5,000万円(0.0%)
国内どの地域においても、一定の行政サービスを提供できるよう、国から配分されるお金です。

その他

302億600万円

(対前年度比+21.0%)

- ◆国庫支出金 80億4,700万円(+32.4%)
- ◆県支支出金 41億6,800万円(+10.2%)
- ◆市債 60億4,000万円(+18.5%)

4 主な歳出の状況 (一般会計)

※主な項目を記載し、金額は百万円単位で表示しています。

義務的経費

244億3,500万円

(対前年度比△0.4%)

- ◆人件費 78億1,400万円(△3.0%)
- ◆扶助費 92億3,000万円(+0.6%)
子育て支援や障がい者支援など福祉のための経費です。
- ◆公債費 73億9,000万円(+1.2%)
過去の建設事業などに使った借入金を返済するための経費です。

投資的経費

82億7,300万円

(対前年度比+74.7%)

- ◆酒田コミュニケーションポート(仮称)整備事業 22億8,000万円
- ◆駅周辺整備事業 15億9,900万円
- ◆新産業会館整備支援事業 7億6,600万円
- ◆浜田・若竹統合保育園整備事業 6億1,600万円
- ◆学童保育所整備事業 1億 300万円

その他の経費

247億9,200万円

(対前年度比+8.6%)

- ◆物件費 65億1,100万円(+3.8%)
委託料や光熱水費、消耗品費などの経費です
- ◆補助費等 94億6,300万円(+6.4%)
補助金・負担金のほか病院機構への交付金なども含まれます。
- ◆繰出金 44億5,400万円(△4.5%)
特別会計に対する支出などです。

5 市債の残高 (一般会計)

市債とは、建設事業などを行うために借り入れたお金です。

家計でいうところのローン残高にあたる市債の残高は次のとおりです。

- 令和2年度末市債残高見込み **600億5,500万円** (対前年度比 △10億1,400万円)

6 行財政運営の方針

●効率的な行財政運営による市民サービスの維持・向上

令和2年度より運用開始する会計年度任用職員制度や人材育成基本方針を踏まえ、限られた人的資源を有効に活用しながら、市民サービスの維持向上に取り組みます。

ICT(情報通信技術)の利活用の推進については、情報化計画を着実に推進し、行財政運営のさらなる効率化を図ります。

●持続可能な財政基盤の確立

社会保障制度の充実に伴う費用の増加などにより、財政が極めて厳しい状況にあることから、投資事業などを除いた予算要求枠についてマイナスシーリングと枠配分方式を併用するとともに、事業のスクラップ・アンド・ビルドを行いました。

公の施設の使用料については、利用者負担と公費負担の公平性、公正性を図るため、見直しを行い、4月より使用料を改定しました。

1 未来を担う人材が豊富な酒田 ~ひとづくり・協働~

1 協働の芽吹きとなる市民参加があふれるまち

●市民活動支援事業／1,266万円

ボランティア・公益活動センター（愛称：ボラポートさかた）の運営と補助制度を通じて、市民による公益活動を推進します。令和2年度は新たに、NPOや公益的な活動を行っている団体と行政との連携による課題解決を目指し、試行的に相互提案型協働事業に取り組みます。

●広報広聴活動推進事業／8,186万円

広報紙、市ホームページをはじめ、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックなどのSNSを積極的に活用し、本市の行政情報を的確かつきめ細かく提供します。



令和元年度山形県市町村広報コンクール各市広報紙部門、一枚写真部門で最高賞「特選」に選ばれた「私の街さかた」

2 大学とともにつくる「ひと」と「まち」

●大学まちづくり推進事業／1,112万円

東北公益文科大学が民間企業と連携して、ビッグデータ活用やデータサイエンスなどに関するプログラムを実施することにより、地域で活躍するIT人材の育成に取り組みます。また、学生の日常生活における街なか活動を促進するため、るんるんバス利用に対して支援を行います。

●東北公益文科大学卒業生定住促進事業／882万円

東北公益文科大学卒業生の本市定住を促進するため、大学卒業後、本市に居住し就業する若者を対象に奨学金の返還を支援します。



全国的にも高い評価を受け、入学者数も順調に推移している東北公益文科大学

3 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち

●小中一貫教育推進事業／264万円

生徒指導の充実と学力向上を目指し小中一貫教育を推進します。学校関係者と有識者による推進委員会の開催、先駆的に取り組むリード校を中心とした実践内容の共有と効果の検証を通して、取り組みの改善や各中学校校区の実態に即した「義務教育9年間におけるつながりを大切にする教育」の実践を図ります。

●学校ICT環境整備事業／3,798万円

学校用ネットワークサーバを更新・統合するとともに、児童生徒による先端技術の活用を見据えたセキュリティの強化対策及び校務支援システムの導入などを実施し、高度かつ効率的な教育環境の実現を目指します。



令和元年8月に移転した松山小学校

●教育支援員配置事業／9,688万円

特別な支援を必要とする児童生徒への対応については、引き続き県内で最大規模となる60名の教育支援員を各小中学校に配置し、一人ひとりのニーズに応じた支援体制の充実に努めます。

●外国語指導助手招致事業／728万円

令和2年度から小学校5・6年生で教科化される外国語（英語）について、外国語指導助手を効果的に活用し、小学校の新学習指導要領への対応と中学校の英語教育の充実を図ることで、異文化を理解する教育を推進します。



外国語指導助手（ALT）から実践的な英語を学びます

●東北公益文科大学連携推進事業／87万円

東北公益文科大学と連携し、中学生を対象とした放課後学習支援や英語講座などを実施することで小中学生と大学生の双方に有益な学びの機会を作ります。

4 学びあい、地域とつながる人を育むまち

●文化芸術推進事業／2,587万円

名誉市民の市原多朗氏などによる音楽のまちプロジェクト、0歳から参加できるアートマルシェやアートスタート事業を継続し、質の高い公演の鑑賞やアート体験できる機会を提供するなど、誰もが文化芸術に触れることができるよう参加機会を充実させます。

●山居倉庫文化財調査事業／238万円

それぞれの分野の学識経験者で組織される調査委員会を開催し、国の史跡指定を受けるための具申書の作成と文化庁への提出を行うとともに、調査の成果をまとめた報告書を発行し、令和2年度中の史跡指定を目指します。

●史跡旧鐘屋修復事業／2,142万円

国指定史跡「旧鐘屋」の修復工事（屋根の大規模修繕及び耐震補強工事）を実施します。

●東京2020オリンピック聖火リレー開催事業／527万円

聖火リレーの実施とスタート地点（日和山公園）での歓迎行事および最終地点（飯森山公園）でのセレブレーション（聖火ランナー到着後に聖火を聖火皿に灯す式典など）を行う経費の一部を負担します。

●文化施設長寿命化対策事業／2億3,169万円

市民会館の音響設備の改修や市写真展示館（土門拳記念館）の記念室および視聴覚室の内装改修など、文化施設の改修を行います。

●体育施設整備事業／6,500万円

光ヶ丘陸上競技場のトラック改修や松山スキー場のリフト改修など体育施設の改修や備品の整備を行います。

●パークゴルフ場整備事業／350万円

八森サッカー場を18ホールのパークゴルフ場に改修し、現在の八森パークゴルフ場と併せ、より大きな大会開催も可能となる36ホールのパークゴルフ場に拡張します。令和2年度は拡張のための測量・設計を行います。

●公益財団法人設立準備事業／73万円

市内外の美術館などとのネットワークの構築や、教育普及プログラムなどワークショップの充実を図るとともに、より質の高い展覧会を企画運営するため、土門拳記念館と酒田市美術館の両公益財団法人の統合の検討を進めます。

●光丘文庫資料データベース構築事業／156万円

全国の歴史研究者などが求める光丘文庫が所蔵する資料目録の検索をインターネット上で可能とするデータベースを構築して全国に発信します。



東京学芸大学付属特別支援学校の卒業生と支援者の皆さんによる若竹ミュージカル酒田公演に、酒田特別支援学校高等部の皆さんが共演



昭和59年に国の史跡指定を受けた旧鐘屋



音響設備の改修を行う市民会館（写真は大ホール）



トラックを改修する光ヶ丘陸上競技場

1 地域経済を牽引する商工業が元気なまち

●産業振興まちづくり推進事業／9,460万円

産業振興まちづくりセンター（サンロク）において、地元企業、農林水産事業者等のニーズとシーズをつなぐ（マッチング）ことにより様々なプロジェクトを組成するとともに、女性活躍推進、創業支援を実施します。

●未来投資促進事業／1億720万円

地域未来投資促進法に基づく企業支援型サービス分野の地域経済牽引事業者の事業の拡大、雇用の促進等の取り組みを支援します。また、市内企業のRPA（事務作業の自動化、ロボティック・プロセス・オートメーションの略）の導入を支援します。

●元気な小規模事業者持続化特別助成事業／630万円

国の小規模事業者持続化補助金の採択を受けた小規模事業者を対象に、本市独自の追加支援「元気な小規模事業者持続化特別助成金」を助成し、販路開拓等を行う取り組みを支援します。

●設備投資促進助成事業／2億7,856万円

工場等の新設・拡充・移設した企業に対し助成金を交付し、地域経済を牽引していく企業を育成し、産業の振興を図ります。



産業振興まちづくりセンターによるマッチングで庄内柿の輸出が実現



サンロクではセミナーやイベントなど様々なプロジェクトを通じて産業振興に取り組みます

2 「港」の物流機能により産業競争力が高いまち

●港湾整備事業／6,497万円

酒田港北港地区の防波堤延長などの直轄（国）事業、本港地区の泊地浚渫などの補助（県）事業に要する経費の一部を負担します。

●重要港湾酒田港活性化推進事業／1,959万円

酒田港の更なる活性化を図るため、取扱貨物量拡大に向けたポートセールス事業やリサイクルポート推進事業に国・県などと協力して取り組みます。



拡張工事が進む酒田港国際ターミナル
（写真提供 山形県港湾事務所）

3 地元でいきいきと働くことができるまち

●酒田市雇用創造協議会活動負担事業／1,036万円

令和元年度に国から採択を受けた「酒田雇用創造プロジェクト」にて、事業所の魅力向上、人材育成のセミナー開催などに継続して取り組み、地域の魅力ある雇用やそれを担う人材の維持・確保に努めます。

●人材確保支援事業／1,600万円

市内企業が人材確保できるよう、県外の人材の採用に要する経費を支援し、本市へのUIターン就職を促進します。

●女性活躍推進事業／100万円

「日本一女性が働きやすいまち」の実現に向け、女性活躍推進懇話会において関係機関と連携し事業を実施します。また、酒田市版リーダーの会（仮称）の設立など、女性がいきいきと働きやすい職場の環境や制度の整備を促す取り組みを進めます。



セミナーを開催し職場環境改善や求職者の人材育成などに取り組む酒田市雇用創造協議会

4 夢があり、儲かる農業で豊かなまち

●農業次世代人材投資事業／1,964万円

新規就農者に対し、経営が不安定となりがちな就農開始直後の農業経営を支援するための資金を交付し、新規就農者の定着を図ります。

●スマート農業推進事業／706万円

土壌分析やドローンなどを活用した水田の健康診断を行い、評価結果に基づく処方箋を作成し、科学的データを取り入れた実践農業を行います。また、データに基づく農業の手法を学ぶスマート農業実践研修会を開催します。

●畜産経営競争力強化支援事業／1億441万円

意欲ある畜産経営者が行う規模拡大や経営の効率化の取り組みを支援し、農業所得の増加に取り組めます。

●農業用ため池防災対策事業／624万円

農業用水を確保するためのため池の緊急点検やハザードマップの作成および更新を実施することで、被災リスクの低減を図ります。



本市スマート農業の拠点となるスマート農業研修センター



農業用水の確保に必要なため池について被災リスクの低減を図ります

5 100年続く森林（もり）を造り、活かすまち

●森林経営管理推進事業／2,522万円

森林環境譲与税を活用し、管理が適切に行われていない森林について、所有者と民間事業者をつなぐための境界の明確化と意向調査のための準備を実施します。

●森林病虫害等対策事業／4,825万円

森林を健全に育成するため、海岸林等において松枯れを引き起こしている森林病虫害等の駆除および防除を行います。



松枯れの拡大防止のために伐倒、破碎による森林病虫害の駆除に取り組めます

6 恵み豊かな水産を活かすまち

●栽培漁業等推進事業／232万円

つくり育てる漁業を推進するため、海面および内水面の漁業者が行う種苗放流に支援します。また、小学校と連携して児童が放流体験を行い、漁業を身近に感じてもらうことで、河川環境の保全意識の啓発を図ります。

●いか釣り漁業支援事業／1,020万円

「いかのまち酒田」を全国に発信するため、水産から商工、観光までの幅広い関係者で構成する「いかのまち酒田戦略会議」を立ち上げ、いか釣り船団出航式や関連イベントを開催します。



見送りの人で賑わういか釣り船団出航式

3

ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田 ~交流拡大~

1 移住者・定住者が増えるまち

●酒田移住交流推進事業／1,981万円

移住相談員による移住相談を継続し、本市への移住検討者へのきめ細かい相談対応および情報提供を行うほか、各種支援策や移住体験ツアーの実施、移住を切り口としたPRなど総合的な施策を展開します。またUIJターン人材バンクの運営により、専任のコーディネーターがUIJターン就職のサポートを行います。

●生涯活躍のまち構想推進事業／1,835万円

荘内銀行や生活クラブ生協と連携し、本市の魅力を発信します。また、本市での様々な活動との関わりをつくる機会の創出や、民間活力による本市の活動拠点の早期整備を進めることで、活動への参加意欲の高い人材の移住を促進します。



本市の魅力を総合的に体験できる「酒田ライフデザインツアー」を実施します

2 「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち

●国際交流推進事業／1,207万円

令和2年度に友好都市の中華人民共和国唐山市との盟約締結30周年を迎えることから、唐山市で開催される記念式典に参加し、さらなる交流の深化を図ります。また、ロシア連邦サンクトペテルブルク第83番学校と山形県立酒田光陵高等学校の協定締結に向けた青年交流を促進します。

●観光戦略・インバウンド推進事業／6,689万円

観光誘客に取り組む企業、団体等や、訪日外国人旅行者に対する受入態勢の整備、集客が見込めるコンベンションやスポーツツーリズム開催の支援及び国等の交付金を活用した事業を展開することで、観光客の増加を目指します。



本市の強みを活用した観光客の誘致に取り組みます

●観光物産施設改修事業／1億8,624万円

日和山公園周辺エリアを本市の新たな観光拠点とするため、日和山公園に隣接している旧割烹小幡を改修し、飲食スペースや休憩できるスペースを設置することで、その周辺に訪れた市民や観光客が気軽に立ち寄れる施設の整備を実施します。



旧割烹小幡の改修完成予想図

●ふるさと納税推進事業／10億75万円

ふるさと納税を推進することにより市の財源確保を図り、あわせて市の特産物のPRを実施し、本市の知名度の向上、地域経済の活性化を図ります。

3 「港」発の交流で賑わうまち

●客船誘致事業／1,265万円 客船受入事業／167万円

酒田港に寄港するクルーズ船の歓迎イベントや、観光案内所、特産品PR販売ブースの設置などを行います。また、クルーズ船船社等へのプロモーション活動を行い、更なる寄港誘致に取り組みます。

●庄内空港振興事業／809万円

庄内空港利用振興協議会を通じて庄内空港利用者の増加に向けた取り組みを展開するとともに、市内旅行代理店でのLCC（ローコストキャリア）航空券販売への補助、中小IT企業の首都圏への航空機利用を支援します。



令和元年8月に庄内一成田間にジェットスターが新規就航

1 誰もがいきいきと暮らしやすいまち

●意思疎通支援事業／181万円

聴覚障がい者などが医療機関や事務所などに赴く場合に、手話奉仕員または要約筆記奉仕員を派遣し、聴覚障がい者などの福祉の増進を図ります。また、手話教室を開催し、手話奉仕員の育成と聴覚障がいに関する理解と知識を高めます。



酒田市障がい者就労支援カフェ「え〜る」(市役所1階)での接客の様子

●障がい児ほっとふくしサービス事業／395万円

障がいのある児童が福祉サービスを利用しながら、成長の過程で自立や社会参加する力を身につけていき、将来的に地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、各種福祉サービスの利用を促進するために、その負担金の一部または全部を助成する障がい児ほっとふくし券(1人あたり18,000円/年)を交付します。

●障がい者ほっとふくしサービス事業／1,132万円

重度心身障がい者が本市指定の福祉サービスなどを利用する際、その負担金の一部または全部を助成することにより、障がい者が快適で安全な生活と社会参加を図ることを目的に、障がい者ほっとふくし券(1人あたり12,000円/年)を交付します。

2 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち

●特定不妊治療助成事業／1,620万円

特定不妊治療を受けるご夫婦に対し、引き続き県内トップクラスの助成内容で支援します。

●妊娠・出産・子育て包括支援(ネウボラ)事業／1,164万円

妊娠期から出産、子育て期までを包括的にサポートするため、子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」を関係機関と連携しながら運営し、産前産後サポートや産後ケアなど支援体制の充実を図り、安心して子どもを産み育てられる環境を整備します。

●浜田・若竹統合保育園整備事業／6億1,643万円

酒田産木材を使用し、統合保育園を整備します。子育て支援センターも併設し、令和3年4月の開所を予定しています。



浜田・若竹統合保育園の完成予想図

●屋内型児童遊戯施設整備事業／197万円

市民ワークショップを開催し、屋内型児童遊戯施設の整備について市民から意見を聴き、基本計画を策定します。

●学童保育所整備事業／1億318万円

学童保育の充実を図るため、学校敷地内に新築する若浜学区第2学童保育所の建設工事を進めるとともに、宮野浦小学校の余裕教室を利用して宮野浦学区第2学童保育所を整備します。

3 健康でいつまでも活躍できるまち

●歯と口腔の健康づくり推進事業／211万円

市民の生涯にわたる予防歯科の重要性についての意識啓発に努めるとともに、若年層の歯周疾患検診や、妊婦や障がいのある方を対象とした歯科健診の充実を図ります。

●私的二次救急医療対策助成事業／500万円

本市の救急医療体制を支えている市内唯一の私的二次救急医療機関である本間病院の救急搬送患者の受入れに対する助成制度を創設し、安心して生活できる医療提供体制の維持を図ります。



市内唯一の私的二次救急医療機関の本間病院

5

地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやす

1 住民と行政の協働による地域運営ができるまち

●コミュニティセンター管理運営事業／2億1,154万円

コミュニティ（防災）センターの施設管理業務委託料の人件費相当部分の積算方法の見直しを行い増額することにより、人材の安定雇用を図るとともに、適切な管理運営に努めます。

●コミュニティ振興事業／1億4,770万円

各コミュニティ振興会に対し、それぞれの地域課題解決を図るための自主的に使える財源として一定の金額を交付金として交付します。また、大沢地区、南部地区、田沢地区で平成29年度から継続している地域づくり推進モデル事業の取り組みについて他地区への展開を図るとともに、地域の将来を地域住民自らが考える地域の計画（ビジョン）に沿った事業実施を支援します。

●中山間地域活力向上事業／1,741万円

株式会社良品計画と本市との連携協定に基づき、地域の活性化や課題解決のための調査事業に取り組むとともに、コミュニティビジネス支援のため、日向コミュニティセンターの改修を進めます。



令和元年度に完成した亀ヶ崎コミュニティ防災センター



令和元年7月に日向コミュニティ振興会が開設した「日向里（にっこり）かふえ」

2 美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち

●ごみ減量化推進事業／2,746万円

資源回収などに対して報償金を交付するとともに、使用済み小型家電、古着、水銀使用製品の無料回収などを行い、廃棄物の資源化及び減量化を推進します。

●風力発電施設整備事業（風力発電事業特別会計）／14億4,456万円

9月から風車の組み立て作業を開始し、令和3年初頭の運転開始を目指します。



使用済みの小型家電の回収などを行い廃棄物の資源化に努めます

3 地域との連携でつくる安全・安心なまち

●防災対策強化事業／1億1,378万円

避難所となる小中学校への食料等の備蓄、情報伝達体制の整備として防災ラジオの頒布や酒田FM放送の中継局整備を行い、市民が安全に避難し、命を繋ぐ体制を構築します。

●消防庁舎及び総合防災センター整備事業／9,516万円

敷地と北部駐車場の外構工事、敷地内の工業用水管防護工事等を行います。消防庁舎は令和3年度の完成を目指して建設を進めます。

●危険ブロック塀等撤去支援事業／240万円

地震等による倒壊の危険性があるブロック塀等の撤去を支援することで、安全を確保するとともに事故の未然防止を図ります。



住民主体の避難所運営訓練を促進します。（写真は平成30年度市総合防災訓練）

4 「暮らしの足」が維持されるまち

●乗合バス運行事業／1億3,100万円

高齢者や障がい者、通院者の交通手段を確保するとともに、中心市街地へのアクセスの向上、まちの活性化を図ります。4月から運賃を100円から200円に、名称も「乗合バス」に変更して運行します。

●デマンドタクシー運行事業／2,662万円

生活面や経済面で関わりの深い松山地域から庄内町への移動手段を確保するため、予約型公共交通のデマンドタクシー路線を新設します。

●定期船運航事業（定期航路事業特別会計）／1億2,783万円

酒田・飛島間の定期船運航を維持し、島民と観光客などの安全・安心・快適な輸送の確保に努めます。

●誘客宣伝・利用促進事業（定期航路事業特別会計）／446万円

利用拡大のための子ども無料キャンペーンや野鳥観察ツアー、情報誌やテレビなどでの広告PRを継続し、飛島への観光誘客を促進します。



ホストタウンのPRラッピングが施されたるんるんバス



酒田と飛島の間を結ぶ定期船とびしま

5 自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち（八幡、松山、平田地域と飛島）

●やわたの夏まつり支援事業／89万円

地域の伝統芸能などの発表の場であるやわたの夏まつりを開催し、交流人口、関係人口を増やすとともに、地域住民の社会参加、生きがいに組み入ります。

●松山にぎわい創出事業／56万円

松山大手門くらふとフェアや山寺コミュニティセンター周辺でのイルミネーションなど賑わい創出事業を実施し、交流人口の拡大と地域活性化を図ります。

●松山の宝推進事業／65万円

松山歴史公園内で百年前のピアノを活用したイベントの実施など、城下町としての歴史資産などからなる「松山の宝」を有効利用し、地域外からの誘客と賑わい創出を図ります。

●里山ひらた地域資源再発見事業／117万円

市内小学校を対象とした自然体験教室、平田地域ゆかりの芸術家に関連するイベントを実施し、交流人口、関係人口の拡大を図ります。

●飛島海の拠点整備事業／997万円

とびしまマリンプラザに観光交流機能（食堂・カフェ）と日常生活支援機能（小規模店舗）を整備するため、施設の老朽度調査と設計業務に取り組みます。

●飛島漁業担い手確保環境整備事業／1,978万円

漁港に放置された漁船の処理を検討・実施する協議会を立ち上げ、漁船の処理を実施します。

●飛島津波等避難対策事業／383万円

飛島地区津波避難対策計画を策定し避難路整備や津波避難対策を推進します。



個性豊かな作品が並ぶ松山大手門くらふとフェア



石黒光二氏の作品「ポニーと少女」



大沢コミュニティ振興会による地域資源を活用した賑わい創出（ジオパーク川遊び）

1 ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち

●酒田コミュニケーションポート（仮称）整備事業／23億3,433万円

複合施設棟（A棟）の完成に伴う公共施設部分を購入します。仮称であった酒田市コミュニケーションポートから「ミライニ」へと愛称を正式決定し、令和2年11月3日の一部先行オープンに向け円滑な準備を行っていきます。市民の多様な活動及び学習の場を創出することにより、交流促進及び中心市街地の活性化を図ります。



ミライニ1階の児童エリア

●駅周辺整備事業／15億9,886万円

酒田駅前地区第一種市街地再開発事業の個人施行者光の湊株式会社に対し補助金を交付し、令和4年春のグランドオープンを目指します。

●新産業会館整備支援事業／7億6,578万円

酒田商工会議所が実施する令和3年夏オープン予定の新産業会館の整備について支援などを実施します。



新産業会館の完成予想図

●まちづくりコンソーシアム事業／255万円

商業高校跡地について、民間資金やアイデアを活用し、山居倉庫周辺エリアの賑わい創出、利便性が向上する機能を併せ持つ拠点の整備に向けて、事業者の募集を行います。

2 交流の基盤となる高速交通ネットワークの実現に向けて一丸となって取り組んでいるまち

●日本海沿岸東北自動車道等建設促進庄内地区期成同盟会負担金／38万円

高速道路・地域高規格道路の早期完成に向けて、沿線市町村や関係団体と連携して取り組みます。

●鉄道高速化・利用促進事業／51万円

羽越本線と陸羽西線の高速化、利用促進に向けて、沿線市町村や関係団体と連携して取り組みます。

3 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち

●市道錦町坂野辺新田線外道路改良事業／1億7,070万円

国道7号と主要地方道酒田鶴岡線を結ぶ道路を整備し、京田西工業団地へのアクセスの向上とともに、歩道を整備し通学路の安全確保を図ります。



計画的な橋りょうの点検・修繕を実施します

●橋りょう延命化事業／1億6,972万円

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの長寿命化（点検・修繕など）に取り組みます。

●公園施設長寿命化等整備事業／5,700万円

将来にわたり誰もが安全・安心に利用できる環境を維持するため、計画的な更新・補修による施設の長寿命化および機能向上に取り組みます。令和2年度は飯森山公園の駐車場トイレの改修や九木原公園の階段の改修などを行います。



ローラーすべり台で遊ぶ子どもたち（飯森山公園）